



▲着物で来た人にはお抹茶のサービスがありました。

## きらびやかな秋の古刹

清水寺の魅力を市内外へ発信していこうと10月20日・21日に「清水寺<sup>あかり</sup>灯参道」を開催しました。

当日は、境内や根本堂、千年杉などをライトアップし普段とは違った雰囲気 연출。訪れた人は神秘的な空間の中、根本堂ミニコンサートや境内ナイトウォークなどを楽しみ、秋の古刹を満喫している様子でした。

米子市から来た難波万千さんは「ライトアップしているときの清水寺は初めて来ました。お寺の雰囲気が活かされているところが良いです。宝物館の見学ツアーは、普段見られない物を解説付きで楽しむことができました」と話していました。



## 収穫が楽しみな森の恵み

森の持つ役割や自然の大切さを学んでほしいと「ふれあい森林教室」が10月31日、上吉田町にある国有林「安寿の森」で開催されました。参加したのは地元南小学校5年生と吉田寿会、島根森林管理署（林野庁）の皆さんら約50人。今年で29回目の開催となる教室では、記念植樹や木工体験などを行っています。

# だんご とぴっくす



まちの話題や出来事をご紹介します



総合文化祭の囲碁大会。会場では「カチッ、カチッ」という音が響き渡ります。老若男女が盤上で静かな戦いを繰り広げていました。（10月28日・総合文化ホール）

今月の一枚



◀種ゴマを打ち込む児童。一人2本のホダ木を家に持ち帰ります。収穫は2年後です。

シイタケ植菌では約2mのコナラの丸太をホダ木用に切断することから作業開始。アドバイスを受けた丸太を支えてもらったりしながら、児童たちは一生懸命ノコギリを引いていました。その後、ドリルで穴を開け、種ゴマを打ち込みました。

5年生の稲田春那さんは「丸太を切るのは大変だったけど、種ゴマを打ち込むことは意外と簡単でした。収穫が楽しみです。汁に入れて早く食べてみたい」と話してくれました。

午前中の体験が終了した後は、現地で昼食。吉田寿会の皆さんが用意したトン汁とともに弁当を広げていました。



◀お父さんの健康を姉妹でチェックしました。

## 市立病院の役割を紹介

健康に関心を持ったり、病院の仕事を知ってもらったりしようと、10月21日に市立病院まつりを開催しました。当日は院内探検ツアーやミニ健康チェック、減塩食の試食などのコーナーが設けられ、多くの皆さんが訪れていました。

医師・看護師の体験ブースを訪れた矢倉心結さん(小学3年生)は「看護師のお母さんと同じ制服を着ることができてよかったです。胃カメラの操作は緊張したけど、自分の思いどおりに動かすことができました」と話してくれました。

## 自慢の歯がキラリ

80歳になって20本以上の歯がある人を表彰する「8020(ハチマルニイマル)表彰式」を10月21日、伯太中央交流センターで開催しました。生涯にわたって健康な歯で食生活を楽しむことを目指すのが、8020運動です。

受賞した美見喜久子さんは「どんな時でも夜だけは、時間をかけて磨くようにしています。夫からはまだ磨いているのかとよく言われます。甘いものは大好きです。これからも食べたいものを頂いて人生を楽しく生きていきたい」と話していました。



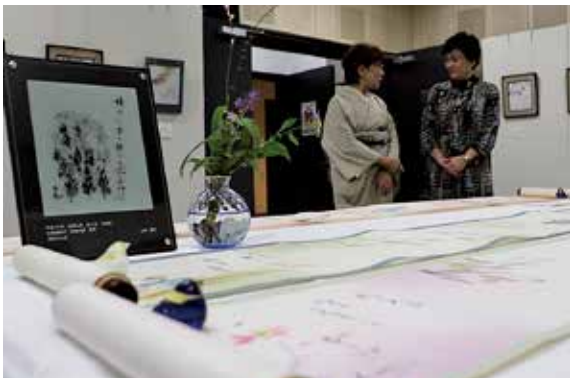
▲今年の8020表彰は、81人の皆さんが該当しました。

## 文化・芸術に触れる祭典

10月7日～11月4日にかけて、総合文化ホール「アルテピア」を主会場に第14回安来市総合文化祭を開催しました。日頃から文化活動に取り組む市民の作品などに触れ、文化・芸術への関心を高めることを目的としています。

期間中は、華道・水墨画などの作品展示や短歌・川柳などの文芸大会、市民音楽祭などで、多くの人が芸術の秋を楽しみました。

12日のオープニングセレモニーで、実行委員会の三島会長は「今年も盛大に開催できてうれしく思います。若い人の出品が増え、これからさらに興味・関心を持ってほしいです」とあいさつしました。



◀展示部門には200人以上から出品がありました。



◀各体験は高校生が担当。

## 情報科学高校が笑店街フェス

中心市街地の活性化の一環として市と商工会議所は、情報科学高校の協力を得て10月21日、「笑店街フェス」を開催。会場となった「やすぎ懐古館一風亭」と「寛のくら」では、ロボット操作の体験や、吹奏楽部や茶道部の発表などが行われました。

プログラミング体験を担当した荒木優和さん(1年生)は、「プログラミングを子どもたちに紹介するときは、一方的ではなく、子どもたちの自主性を大事にしながらかけています」と話していました。

「情報ITフェア」を開催

- ・日時 12月1日(土)・2日(日)10時～15時
- ・会場 情報科学高等学校